

第2回 談話会

日時：2026年8月26日（水）17：00～18：30

場所：キャンパスセンター2階 キャンパスホール

口腔を超えて再定義する医療連携（医科歯科連携） -掌蹠膿疱症とアカデミックネットワーク統合からの示唆-

講師：村上正基先生

宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野 客員教授
神奈川歯科大学歯学部病理組織形態学講座 客員教授
東京医科大学皮膚科学分野 客員教授
名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 皮膚科

- 1990年 聖マリアンナ医科大学医学部卒業
- 1994年 長崎大学医学部第3解剖学講座 研究生
- 1995年 藤田保健衛生大学大学院医学系研究科形態系病理学卒業
- 1995年 藤田保健衛生大学医学部病理学講座 助手
- 2001年 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校皮膚科学 博士研究員
- 2003年 旭川医科大学病院皮膚科 医員・助手
- 2007年 北海道社会事業協会富良野病院皮膚科 主任医長・部長
- 2009年 旭川医科大学医学部皮膚科学講座 助教・講師
- 2012年 愛媛大学大学院医学系研究科分子機能領域皮膚科学 講師
- 2018年 愛媛大学大学院医学系研究科分子機能領域皮膚科学 准教授
- 2021年 愛媛大学大学院医学系研究科分子機能領域皮膚科学 教授（特任）
- 2023年 特定非営利活動法人領域横断疾患研究機構 理事
- 2024年 宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野 客員教授
- 2024年 神奈川歯科大学歯学部病理・組織形態学講座環境病理学 客員教授
- 2024年 総合医療科学コンサルティングオフィス M. Cubed 代表
- 2024年 名古屋市立大学 客員教授
- 2024年 東京医科大学皮膚科学分野客員教授



本講演では、医科歯科連携の本質を「口腔領域の補完」から「全身疾患の診療戦略を規定する中核」へと再定義する。掌蹠膿疱症は歯性病巣感染との関連が確立された代表的疾患であり、特に歯内療法および歯周治療の適切な介入が、皮膚症状のみならず関節症状を含む全身病態の改善に直接寄与し得る臨床モデルである。本講演では、感染源としての根尖病変・歯周病変の制御が臨床経過に与える影響を具体的症例を通じて提示する。さらに、名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院皮膚科と愛知学院大学歯学部附属病院との連携による医科歯科統合診療ネットワークを紹介し、歯科医師が主体的に関与することで診療アウトカムが規定され得る実態を示す。加えて、領域横断疾患研究機構（NOTRD）の取り組みを通じて、臨床と研究を接続するアカデミックネットワークの意義を提示する。医科歯科連携は個別症例対応にとどまらず、診療・研究・教育を統合する持続可能な医療基盤として機能し得ることを示したい。